



2026 年 6 月 12 日
ref. 26-0612-014
〒141-6004
東京都品川区大崎 2-1-1
ThinkPark Tower 4 階

都市部の農地維持に貢献する「モスの貸し農園プロジェクト」始動

「MOS FARM Tokyo 高島平農園」を開設

～板橋区のトライアル・サウンディング制度を活用し、都市型農園モデルを実証～

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス(代表取締役社長:中村 栄輔、本社:東京都品川区)では、東京都板橋区(区長:坂本 健)が進める緑地再整備のトライアル・サウンディング※を活用し、市民農園「MOS FARM Tokyo 高島平農園」を、2026 年 6 月より開設します。「MOS FARM Tokyo 高島平農園」を「テスト農園」と位置づけ、今後、都市部の農地維持に貢献する「モスの貸し農園プロジェクト」の本格展開を目指します。

※公共施設を事業者等が暫定的に使用し、効果的な活用方法を探る取組みのこと。



「MOS FARM Tokyo 高島平農園」イメージ

■取り組みの背景

都市部を中心に農地が長年にわたり減少傾向にある一方で、農家ではない一般市民がレジャーや食育を目的に利用する市民農園は増加傾向にあります。農林水産省の市民農園開設状況調査※によると、2025 年 3 月時点で全国に 4,273 農園あり、面積は 1,284ha となっています。このうち、関東・近畿・東海の 3 大都市圏だけで、全国の農園数の約 80%を占めており、とくに関東圏が全体の 50%を占めています。都市部で市民農園へのニーズが高い一方で、実際に貸し出される農園は不足しています。「モスの貸し農園プロジェクト」はこうした市民農園へのニーズを踏まえ、モスフードサービスが社内内で実施している新規事業創出プロジェクト「Challenging 01」で採択された新しい試みです。当社では本プロジェクトを通じて、「農」「食」「地域」をつなぐ新たな価値創出を目指します。

※「市民農園開設状況調査」参照先: https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/tosi_nougyo/s_joukyou.html

■本プロジェクトの将来性

「モスの貸し農園プロジェクト」は、都市部における農地活用モデルを実際に可視化する「モデル農園」としての役割も担います。地域の農家や土地所有者との新たな接点創出につなげ、将来的な農地ネットワークの拡大可能性についても検証します。将来的には、モスバーガー店舗、モスの協力農家、全国のモスファームなどとの連携も視野に入れ、「育てる」「食べる」「地域とつながる」を循環させる、新たな仕組みづくりを目指します。具体的には、店舗で発生するカット野菜の端材などの野菜残さを活用した資源循環や、農園で育てた野菜や花を用いた店舗との取り組み、生産現場とお客様をつなぐ体験機会の創出など、モスならではの「食と農の循環モデル」の可能性を追求します。モスバーガーがこれまで培ってきた「食」と「農」の資産を、店舗の外にも広げていく新たな挑戦として、「食べる人」と「育てる人」の距離を近づけ、人が集い、地域とつながる場づくりを進めてまいります。

■高島平緑地について、および板橋区との連携

板橋区は、2025 年 3 月に「高島平緑地再整備方針」を策定し、「高島平緑地らしさ」を活かし「高島平の自慢となるみどり豊かな居場所をつくる」という方向性を示しました。今回、高島平緑地の有効活用を進めるトライアル・サウンディングとして、「モスの貸し農園プロジェクト」を採用いただき、「MOS FARM Tokyo 高島平農園」が誕生します。当社では「MOS FARM Tokyo 高島平農園」を、将来的な都市型貸し農園・体験農園事業の可能性を検証する「テスト農園」と位置づけています。貸し農園區画は 2026 年 6 月より、順次利用者の募集を開始する予定です。

モスフードサービスでは、モスバーガー創業の地である東京都板橋区と、子育てや次世代育成、観光振興などの分野において相互に連携する『地域活性化等に関する包括連携協定』を、2023 年 5 月に締結しました。「MOS FARM Tokyo 高島平農園」では、区画貸しではない体験農園スペースなど、イベントに活用できる場所も設置します。地域の方々に幅広くご利用いただくことによって、子育てや次世代育成につなげるための企画を展開していく計画です。

< 実施概要 >

- 名 称: MOS FARM Tokyo 高島平農園
- 緑地の使用期間: 2026 年 6 月～12 月(予定)
- 場 所: 板橋区高島平緑地(通称:丸太公園、高島平九丁目1番)
- 運 営: 株式会社モスフードサービス
- 協 力: 板橋区
- 利 用 者 募 集: 2026 年 6 月～
※募集区画数や利用条件などの詳細については、公園内掲示板や SNS、各種媒体等を通じて順次お知らせいたします

< ご参考 >

■新規事業社内公募コンテスト「Challenging 01(チャレンジング ゼロワン)」について

当社は創業以来、常にアントレプレナーシップの精神を大切にした事業展開を進めてきました。新型コロナウイルスの脅威にさらされた 2021 年 4 月に「手を挙げよ」「アントレプレナーシップを持て」の掛け声のもと新規事業社内公募コンテスト「Challenging 01」を開始し、以来 91 件(2026 年 3 月末時点)の新規事業の企画が、多くの社員から出されています。

< 報道関係者からのお問い合わせ先 >

株式会社モスフードサービス 広報 IR・SDGs グループ

E-mail : pr@mos.co.jp

< お客様からのお問い合わせ先 >

お客様相談室 TEL : 0120-300900 (受付時間:10:00～17:00)

< ご参考 > ●モスフードサービス企業サイト <https://www.mos.co.jp/company/>

●モスグループの環境・社会活動「モスの森」<https://www.mos.jp/mori/> ●モス公式通販サイト「Life with MOS」<https://ec.mos.jp/>